

□講義科目(基礎科目)

科目名	福祉サービスマネジメント概論	2単位
担当者	篠田 道子	
テーマ	保健・医療・福祉サービスのマネジメント(管理・運営)を考える	
科目のねらい	<p><キーワード> 保健・医療・福祉サービス、 マネジメント、 ミドルマネジャー、リスクマネジメント、意思決定支援 地域包括ケアシステム、 多職種連携</p> <p><内容の要約> 少子高齢化や情報化社会の進行とともに、福祉サービス、組織やチーム、リーダーシップのあり方が変化している。本講ではミドルマネジャーという視点から福祉サービスのマネジメント(管理・運営・経営)を考える。本科目における「福祉」とは、保健・医療・福祉・リハビリ・介護を包括した広義のものである。講義、ディスカッション、グループワーク、ワークショップなど複数の方法を組み合わせる。授業では様々な保健・医療・福祉サービスの場面にスポットを当て、自分がその場面の当事者であればどのように状況を理解し、そしてどのように意思決定し、組織やサービスを動かしていくのかを考える。授業は意思決定と思考訓練の場でもあり、理論的知識と実践的な知見の双方の向上を目指す。また、わが国における福祉サービスを多面的かつ相対的に検討するため、国際比較も随時取り入れていく。</p> <p><学習目標> ・広義の福祉サービスのマネジメントを理解する。 ・意思決定と思考訓練を重ね、適切な解決策を見つけ、グループ内での合意を形成できる。</p>	
授業の進め方	<p>本講義は、隔週2コマ連続とする。</p> <p>第 1・2 回 オリエンテーション、自己紹介、問題提起 多職種連携を高めるカンファレンス(ブレインストーミング、ケース教材による討論)</p> <p>第 3・4 回 福祉サービスにおける組織変革(ケース教材による討論)</p> <p>第 5・6 回 多職種で支える意思決定支援-終末期ケアに焦点を当てて-</p> <p>第 7・8 回 地域包括ケアシステムとネットワーク形成(院生による事例提供と討論)</p> <p>第9・10 回 医療・福祉サービスの国際比較</p> <p>第 11・12 回 高齢者施設における新型コロナのリスクマネジメント</p> <p>第 13・14 回 静かなリーダーシップ(グループワーク+発表)</p> <p>第 15 回 全体のまとめ</p> <p>※都合により、授業の内容と順番を一部変更することがあります。</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>・事前に配布したケース教材を読み、課題シートに自分の考えをまとめ、グループワークで発言できるように準備しておくこと。</p> <p>・地域包括ケアシステムの概要、取り組み状況、評価等について、事前に調べておくこと。</p>	
本科目の 関連科目	保健・医療・福祉サービス論	
テキスト	テキストは使用しない。レジュメ、ケース教材、実践報告書、雑誌論文、新聞記事など多様な教材を使う。	
参考文献	<p>・篠田道子(2011)『多職種連携を高めるチームマネジメントの知識とスキル』(医学書院)</p> <p>・篠田道子他編集(2018)『多職種で支える終末期ケア-医療・福祉連携の実践と研究』(中央法規)</p> <p>・J.バダラッコ、高木晴夫監修(2010)『静かなリーダーシップ』(翔泳社)</p>	
成績評価 方法と基準	<p>最終レポート(50点)、②平常点(50点):コメントカード、事前課題、グループワークへの参加状況等で評価し、総合評価 60 点以上を合格とする。最終レポート:テーマは、授業で扱う内容に関連するものを各自でテーマ設定する。A4版で 2000 字程度にまとめる。締め切りは 2021 年 7 月 31 日(土)までに、大学院事務室が指定する提出 BOX に提出すること(締め切り厳守)。</p>	